

## まちづくり活動計画書

## 1 助成を受けようとするまちづくり活動について

団 体 名	大門 DIVE! 実行委員会	
まちづくり 活 動 名	よそ者目線で大門の昔と今をつなげる橋渡し！	
活 動 地 域	名古屋市中村区大門地域	
活 動 の 背 景	<p>(団体の立上げのきっかけや活動に至る背景をアピールしてください。)</p> <p>大門の街は、昔の遊郭、赤線時代の負のイメージが現在も残っており、名古屋市民の中でも大門に近寄ることを避ける人が少なくない。そのような誤解を解くことを目標に、名古屋市の事業であるナゴヤ商店街オープンで新大門商店街をイベントにより盛り上げるコミュニティデザインチーム『大門 DIVE!』を結成。よそ者の視点から、大門地域の魅力を再発見し、イベントを通して大門を親しみやすい安全な街としてPRしていく。</p>	
目的・目標	<p>(活動の目的と、活動により実現したい目標及び成果を具体的かつ簡潔にご記入ください。)</p> <p>■目的 外部に住む人間の視点から、イベントを通して街の魅力を発信する。</p> <p>■目標 街に遊びに来る人、新たに住む人が街の活動に参加しやすい環境を作る。</p> <p>■成果 街を利用する人の増加、街に馴染む新住人の増加。</p>	
活 動 内 容	<p>(上記の目的、目標に沿って、活動内容や実施方法を、具体的かつ簡潔にご記入ください。)</p> <p>①マルシェの企画・開催 『人と地域がつながる』をメインテーマとし、大門地区の住人と地区を訪れる人が交流する機会を作る目的で、マルシェを開催する。</p> <p>②地元の人以外は入りにくいお店を楽しむツアー 昨年度に開催した本イベントを、本年度も継続して開催する。大門には、昭和レトロを感じる喫茶店などのお店が残っているが、外から訪れた人には興味はあるが入るのを躊躇してしまうお店もある。そこで、一人だと躊躇するお店をみんなを楽しむツアーを企画する。</p> <p>③イベント参加記念の缶バッジ 各イベント開催時に、参加者にはイベント名とイベント日時の入ったオリジナル缶バッジを製作しプレゼントする。</p> <p>④大門の喫茶店を紹介する小冊子の製作 大門に残るレトロ喫茶を中心に、大門を訪れた人が一息つくことができるお店を歴史とともに紹介する小冊子を製作する。</p>	
活 動 予 定 間 期	2022年 7月 ～ 2023年 1月	
助成金交付申請 額	100,000 円	<p>※1回目（上限5万円）</p> <p>※2回目、3回目（上限10万円）</p>

## 2 まちづくり活動の視点

以下の視点で活動内容についてご記入ください。

<b>審査基準① 必要性</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>・地域に根ざしたまちづくり活動内容か</li><li>・自分たちの住んでいる地域を住みよい環境にする活動か</li><li>・活動の実施にあたって、まちづくり活動助成金が必要な活動か</li><li>・活動メンバーのみの趣味や仲間づくりではなく、多くの人に理解や共感が得られる活動か</li></ul>
(活動の必要性について、上記観点から分かりやすくご記入下さい。)	
①マルシェの企画・開催 マルシェは、街へ人を集める効果だけでなく、人の交流の場としての役割も期待できる。また、大門にとっては出展者自身が今後の関係人口、もしくは新たな店舗を開店する住人になる可能性も考えられるため、開催する意義は十分にある。活動助成金は、主に開催告知のためのチラシ作成とオリジナル缶バッジなどの参加記念品購入に活用したいと考えている。	
②地元の人以外は入りにくいお店を楽しむツアー 昨年度に実施した、宝来ビリヤードとカフェドオレンジのご店主には、参加者が楽しむ姿を見て喜んでいただけたことから、本イベントは参加者だけでなく地域のお店にとっても開催価値があることがわかった。本イベントを定期的で開催していくことで、お店をきっかけにした地域と人を繋げていくことが可能である。	
③イベント参加記念の缶バッジ イベント参加者に特別感を与え、記念品として手元に残るため、大門地区への愛着と仲間意識が強まる効果が期待できる。昨年度も、イベントのたびにオリジナル缶バッジをプレゼントしたところ、お子さんを中心に好評だった。	
④大門の喫茶店を紹介する小冊子の製作 大門には、昭和から続くレトロ喫茶をはじめとして、魅力的な喫茶店、カフェがあるが、今年も新店舗が2軒オープンする予定である。しかし、これまでの歴史的な経緯から、いまだに近寄りがたい街だと思われているところがあり、数々の魅力的なお店があることは意外と知られていない。本グループが、各店舗を改めて取材し小冊子にまとめて配布することは、大門が安心して楽しくまち歩きできる地域であることを大門の外で暮らしている人に向けてPRできる。	
<b>審査基準② 実現性</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>・活動内容が具体的になっているか</li><li>・活動内容の資金計画などは妥当か</li><li>・人員や規模などは妥当か</li></ul>
(活動の実現性について、上記観点から分かりやすくご記入下さい。)	
《活動内容の具体性》	
①マルシェの開催については、メンバーにマルシェの運営に関わっている者がいるため、ノウハウについては問題ないと考えている。ただし、大門 DIVE! 実行委員会としてマルシェを開催するのは初めてのため、8月6、7日に開催予定の新大門商店街の夏祭りである大門フェスと連携して運営し、集客などの負担を減らす。また、今回は規模を小さくし、出店者は招待制にして、極力、不測の事態が起きないようにする。	
②地元の人以外は入りにくいお店を楽しむツアーは、昨年度に開催した経験をもとに、参加者数やイベント時間などを含めてイベント内容を企画できる。また、今年度も新型コロナの蔓延状況によっては開催方法を見直す必要があるかもしれないが、昨年度のイベント開催時の経験があるため柔軟に対応できると考えている。	
③イベント参加記念の缶バッジは、昨年のイベント時にもプレゼントしたが好評であった。配布方法については、昨年度のノウハウがあるため問題ない。	
④大門の喫茶店を紹介する小冊子は、昨年度の活動でミーティングをする場所として大門の喫茶店を積極的に利用してきたことで、すでに店主と関係性が築けているお店が増えていることから、取材は問題なく進められると考えている。	
《資金計画の妥当性》	
①のマルシェのチラシの金額については、ネット印刷会社の価格から算出している。	
③の缶バッジの金額については、昨年度の経験から算出している。	
④の小冊子の印刷金額は、ネット印刷会社の印刷金額を参考に算出している。	
《人員や規模の妥当性》	
イベントの規模については、昨年度の経験から実行委員会の人数で十分に運営できる規模になるよう調整している。また、昨年度はSNSとブログを利用して告知と活動報告を行ったが、今年度もSNSとブログを利用して平日などに現地で活動できない分をフォローする。	

<b>審査基準③</b> <b>発展性</b>	・今後の活動の発展にむけての視点や計画があるか ・活動実施後に、地域のまちづくり活動にどのような波及効果を及ぼせるか
(活動の発展性について、上記観点から分かりやすくご記入ください。)	
<p>新大門商店街振興組合がこれまでの取り組みで苦勞してきた、新住人との繋がり作りについて、マルシェの開催は両者の橋渡し役として機能すると考えている。一方で、地元の人以外は入りにくいお店を楽しむツアーは、商店街を利用する人を増やすことに貢献できると考えている。</p> <p>マルシェについては、来年以降も大門で定期的を開催することを目標としている。将来、大門定番のイベントとして定着するように育てていきたいと考えている。</p> <p>イベント開催を継続することは、その都度、人の交流が生まれるため、地域の停滞を防ぐ効果があると考えます。本グループは、活動実施後も地域とともに課題解決をする相談窓口として機能していくことを目指す。</p>	

3 活動にあたり他団体（町内会、自治会他）、企業、行政の部署など協力する又は調整を図る必要がある場合には、その名称と内容を記入してください。既に連絡等を取っている場合にはその日付も記入してください。

名 称	内 容
新大門商店街振興組合	昨年度から、イベント開催の際には密に連絡を取り合い協力していただいているため関係は良好である。5月14日には、今年度のイベントについて打ち合わせをした。

※第2号様式は3ページ以内でご記入ください。用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

## まちづくり活動の実施スケジュール

・活動の実施日だけでなく、それに向けた準備（団体の打合せ、広報）についても具体的に記入してください。

・1ページにおさまるように記入してください。

年	月	活動項目	活動内容
2022	4		
	5	打合せ	マルシェについて
	6	打合せ	マルシェについて
	7	地元の人以外は入りにくい お店を楽しむツアー	喫茶店を中心に、お店は未定
	8	マルシェ	8月6、7日 大門フェスと同時開催
	9	打合せ	マルシェの結果、小冊子について
	10	地元の人以外は入りにくい お店を楽しむツアー	喫茶店を中心に、お店は未定
	11	打合せ	小冊子について
	12	地元の人以外は入りにくい お店を楽しむツアー	喫茶店以外のお店、お店は未定
	2023	1	打合せ
2			
3			

備考 用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

## まちづくり活動の予算書

1 支出

計画書の活動における支出（予算）をご記入ください。

	費目 手引きの費目を参照	活動項目	内訳・算出根拠	金額 (円)
<b>まちづくり活動助成金（申請金額）</b> ※活動経費の内、助成対象となる経費が対象です。 ※上限金額：1回目は5万円、2回目、3回目は10万円				100,000円
活動経費の内訳	物品費	缶バッジ材料	缶バッジ材料@25×400	10,000円
	物品費	缶バッジ装飾フィルム	缶バッジ専用フィルム@10×400	4,000円
	消耗品費	イベント	当日使用景品等購入	2,500円
	消耗品費	イベント	消毒液等衛生用品購入	1,000円
	消耗品費	打合せ資料	インクジェットインク、プリント用紙等	5,000円
	印刷費	小冊子	お店紹介小冊子 1,500部	45,680円
	印刷費	マルシェ	告知チラシ 500部	2,510円
	謝金	デザイン料謝金	小冊子デザイン料謝金 10店舗程度の取材および編集作業×2日	30,000円
<b>支出合計</b>				<b>100,690円</b>

※1ページにおさまるよう記入してください。用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。